

【巡回指導〈2〉】会津若松市立 一箕中学校

日程：2019年 2月2日(土)

参加者：一箕中学校(17名) / 青木先生

指導者：小野章三(元塚ブレイザーズ)

同行者：事務局/松尾英紀、小色尚子 会員：(株)カナメ 1名



2回目の巡回指導は1回目引き続き小野コーチが指導しました。雪が降りしきる中、会員である(株)カナメの安藤さんが、会津の美味しい苺を差入れに来て下さいました。安藤さんより「バレーの技術だけでなく、心構えや精神的な部分を友情ネットは伝えてくれます。沢山のことを吸収して明日の自分たちの力にしてください」とコメントをいただきました。最初にコミュニケーションワークとして関東イベントの感想を話してもらいました。学校紹介の時に同じ福島の学校でも自分たちを表現している姿を見て驚いた事、2日間で1年生と2年生のコミュニケーションが取れ、距離が縮まった事、関東の生徒の積極的な姿から感じた事などを話してくれました。小野コーチから「他の人から見た自分たちの事、誰かを見てすごいなあと思った事、チームで話が出来て良かった事など、一人一人が色々な事を感じる事が大切で、チームメイトが何を感じているか、自分がどう思ったかを伝える、共有することで自分の事やチームメイトを知る事ができます。こういうことを自分たちでも積極的にやっていくことが大事だよ」と話がありました。



チームで話し合い、今日は、1年生はサーブを、2年生はサーブカットを頑張ると目標を掲げました。この日はフォーメーションを重点的に指導しました。ローテーションによって変わる自分のエリアの確認、対角線上には誰がいるのか、ボールが来た場所によって誰がどの役割を担って自分たちのチーム力を活かすのか、声や動きの大切さなど色々なパターンを想定し、指導していきました。どんどん良くなったかと思うと、また上手いかなります。その都度、チームで話し合いをしてもらいました。



休憩に安藤さんの苺をみんなで美味しくいただきました！小野コーチより「限られた時間の中で練習をする時は、今日の目標をしっかりと自分たちで持つ事。そして、最初に話したように自分の意見を相手に伝える、相手の意見も聞く。その積み重ねがチームを強くする。自分は何をすべきか意識し、頭の中で整理して意味を持って行う事。受け身ではなく、自分から作り出すことを意識して欲しい」と話がありました。イベントでは準優勝した一箕中。自分たちの殻をもう一つ破り、また一歩先に進めるよう応援しています！